

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	直腸癌術後肛門周囲皮膚炎に対する早期治療介入
研究機関名	静岡県立総合病院 大腸外科
研究責任者	間 浩之
研究期間	2025年4月 ～ 2031年3月
試料・情報の利用又は提供を開始する予定日	実施許可日（2025年4月2日）
対象者	実施許可日から5年間にS状結腸癌と直腸癌に対する肛門温存の切除術（S状結腸切除術、直腸切除術）を受けた方、また、人工肛門閉鎖術を受けた方を対象にしています。
当該研究の意義・目的	S状結腸癌と直腸癌術後の排便障害による肛門周囲皮膚炎は多くの患者さんを悩ませる疾患です。特に肛門周囲の痛みは術後のQOLに影響を及ぼし、海外の報告では肛門周囲皮膚炎に対する早期治療介入が症状の軽減につながる事が分かっています。そこで、本研究では術直後から肛門皮膚ケアを導入し、その早期治療介入の有効性を明らかにすることを目的として実施します。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none">・背景因子（年齢、性別 など）・手術情報（術式、時間、出血量 など）・臨床データ（排便障害の程度、肛門の痛みのスケール、皮膚の炎症評価 など）
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 大腸外科 間 浩之 代表 054-247-6111